

【別紙】専用ウェブサイトの保守・運用について

1 費用負担

サイトの保守・運用に必要となるサーバ等のハードウェアやデータベース、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）等のソフトウェアは、受託者において準備し、それに係る費用は受託者が負担すること。

2 業務の内容

（１）ウェブサイトの管理・運用及びそれに係る必要な各種業務

- ① サイト上の情報の正確性が担保されるよう適宜に情報確認・更新を行うこと。
- ② 安定的管理・運用を図るため、ソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。
- ③ システム及びシステムの稼働に伴い継続的に必要となるソフトウェア製品のライセンス提供、管理を行うこと。
- ④ 使用する全てのソフトウェアのバージョンアップに関しては、その適用の判断に必要な調査・評価を行い、委託者と協議のうえ、提供及び適用作業を行うこと。
- ⑤ SSL 証明書の更新を行うこと。
- ⑥ ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。
- ⑦ データバックアップを適宜実施すること。
- ⑧ 新しいコンテンツ等が追加になった場合のメニューの追加等のトップページの修正に対応すること。
- ⑨ SNS（Facebook 等）との連携を可能とすること。
- ⑩ コワーキング定期利用者が変更になった場合は、随時、入居企業ページの各企業のリンク、社名、会社ロゴを更新すること。
- ⑪ 障害への対応については、委託者と調整を行い、システムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応及びデータの復旧作業を行うこと。

- ⑫ 障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正措置・予防措置を講じること。
- ⑬ 本業務期間以降の管理・運用についてのコスト負担や人的負担の軽減できるような仕組みづくりについて、受託者主導のもと委託者と協議を持ち推進すること。
- ⑭ 本業務期間以降に管理・運用者が変更になった場合でも、ドメイン・データや運用の引継ぎが可能なシステムとすること。

3 ウェブサイトの機能要件

(1) サーバ仕様

- ① サーバは高度なセキュリティと堅牢性が担保されていること。
- ② 改ざん感知機能を有すること。
- ③ 不正侵入検知、防止機能を有すること。
- ④ コンピュータウイルス対策がなされていること。
- ⑤ データのバックアップを行い、データ破壊等が発生した場合にも最新のバックアップの状態に復旧できること。
- ⑥ サーバ仕様（スペック等）を資料として提出すること。
- ⑦ サーバ障害時は土・日・祝日でも電話等で対応できること。

(2) その他

- ① 公開後に修正が必要と考えられる箇所が判明した場合、委託者と受託者が協議のうえ、その箇所の修正を行うこと。
- ② Internet Explorer11.0 以上、Edge 最新版、Google Chrome 最新版、Fire fox 最新版、Safari 最新版で閲覧した場合、レイアウトやデザインの崩れがないこと。
- ③ 表示形式は PC、スマートフォン、タブレットのレスポンス対応等最適な画面表示になるようにすること。
- ④ アクセシビリティに配慮すること。

- ⑤ 公開環境にドメイン認証タイプの SSL サーバ証明書を導入設定すること。公開するサーバ証明書を導入設定すること。公開するページが全て SSL 対応されていること。SSL サーバ証明書のライセンス更新作業を、必要に応じて随時実施すること。

4 情報提供

月 1 回アクセス数等サイトの閲覧状況に関する情報を提供すること。

以上